

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	039	事業名	消防水利設置事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
------	-----	-----	----------	------	-------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	予算区分(款 一 項 一 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	8-1-3 消防施設費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 消防水利の基準		
事業開始の背景、経緯等	消防水利の基準が改正され、市町村の消防水利整備目標が示され、地域の実情に応じて計画的に整備することとされた。			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 大規模地震時等の火災時に対応するため、耐震性貯水槽を設置する。 市民居住地を中心に消火栓を整備するため、愛知中部水道企業団に設置要望を行う。		
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 区画整理事業に併せ、消防水利を整備していく。		
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内における消防水利充足率を向上させるとともに、大規模地震時における消防水利を確保する。		
	事業を構成する事務事業(B票)	① 防火水槽設置事業	改善・見直し	④
	② 消火栓設置事業	縮小	⑤	
	③		⑥	

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)		千円	予算	-	24,878	6,278	40,348
決算				-	17,423	4,212	34,781	
人件費(B)		千円	決算	-	1,833	7,169	2,146	
総コスト(A)+(B)		千円	決算	-	19,256	11,381	36,927	

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A	耐震性貯水槽設置	基	目標	-	-	-	2
実績				-	1	0	2	
B	65ミリ消火栓設置	基	目標	-	-	-	1	1
			実績	-	1	0	0	
C	40ミリ消火栓設置	基	目標	-	-	-	1	1
			実績	-	0	0	0	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 都市公園の整備状況に併せて、公園毎に1基の耐震性貯水槽を設置していく。								
B 消防水利の不足する地区に毎年1基の消火栓を設置していく。								
C 市民からの要望を受けて、初期消火用消火栓を設置していく。								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町も同様に実施している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 耐震性貯水槽の設置はできたが、消火栓は、愛知中部水道企業団による水道管敷設の影響を受けるため、目標は達成できていない。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 耐震性貯水槽の設置は、進んでいるが、消火栓の設置は、既存の水道管部分への設置は停滞している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 消火栓の設置には、本市のみの意向では設置できないため、継続して協議していく。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 耐震性貯水槽は、市内に都市公園を整備するタイミングで設置することで、工費を抑制できるので、引き続き実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成32年度に耐震性貯水槽を設置することで、現在の設置計画は完了する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	消防水利設置事業		担当部課	くらし文化部安心安全課	決算書ページ	—
事務事業名	①	防火水槽設置事業	予算区分	8-1-3 消防施設費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成9年度	終了(予定)年度	平成32年度		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 区画整理事業で都市公園を整備するのに併せ、耐震性貯水槽を設置する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大規模地震時等の火災時に対応するため、耐震性貯水槽を設置する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	—	23,500	4,900	38,620	39,118
		決算	—	16,266	4,212	34,781	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		耐震性貯水槽設置工事				32,081 千円	
(2)		耐震性貯水槽設置工事監理委託				1,512 千円	
(3)		耐震性貯水槽設置工事設計委託				1,188 千円	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
耐震性貯水槽設置	基	見込	—	—	—	2	2
		実績	—	1	0	2	2
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
下山1号公園に耐震性貯水槽1基設置 中央3号公園に耐震性貯水槽1基設置							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

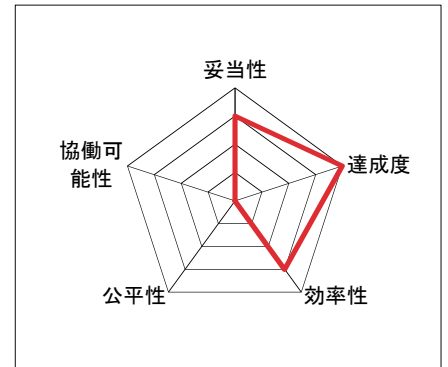
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 都市公園の整備進捗に併せて設置していく。
--

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
38,620 千円 39,118 千円 498 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】
区画整理事業に併せて都市公園が計画されるので、連携を密にして貯水槽を設置していく。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
都市公園2か所に耐震性貯水槽を新たに設置した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	—
協働可能性	—



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
公共物の設置事業なので、協働は難しい。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
下山1号公園と中央3号公園に各1基の耐震性貯水槽を設置した。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
都市公園への整備計画は、平成32年度で完了する予定であるので、その後の整備について検討が必要。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	消防水利設置事業		担当部課	くらし文化部安心安全課	決算書ページ	—
事務事業名	②	消火栓設置事業	予算区分	8-1-3 消防施設費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	—	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 消防水利が不足する地区に消火栓を設置するため、愛知中部水道企業団に要望していく。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内における消防水利不足地区を減らす。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	—	1,378	1,378	1,728	1,760
		決算	—	1,157	0	0	0
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)							千円
(2)							千円
(3)							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
65ミリ消火栓設置	基	見込	—	—	—	1	1
		実績	—	1	0	0	0
40ミリ消火栓設置	基	見込	—	—	—	1	1
		実績	—	0	0	0	0
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
—							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

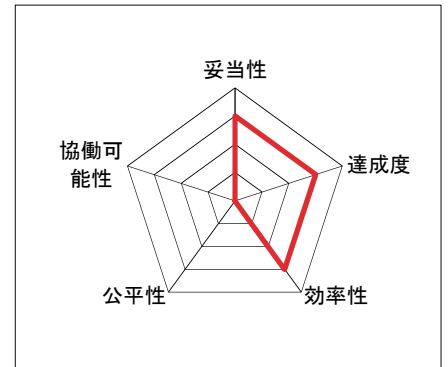
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 消火栓の設置は、水道管の敷設の影響を受けるため、積極的な設置は難しい。
---

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
1,728 千円	1,760 千円	32 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	現状維持	
・前年度【コメント】	新たな消火栓設置可能場所がなく、水道管の敷設待ちとなっている。	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
引き続き消防水利未充足地区への設置要望を行ったが、新たな設置はなかった。		

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	—
協働可能性	—



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
公共物の設置事業であるので、協働は難しい。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
実施事業なし

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
40ミリ消火栓は、設置目的である初期消火活動に使用されたことが最近はなく、費用対効果が見込めなくなっている。

## 7. 今後の方向性

縮小